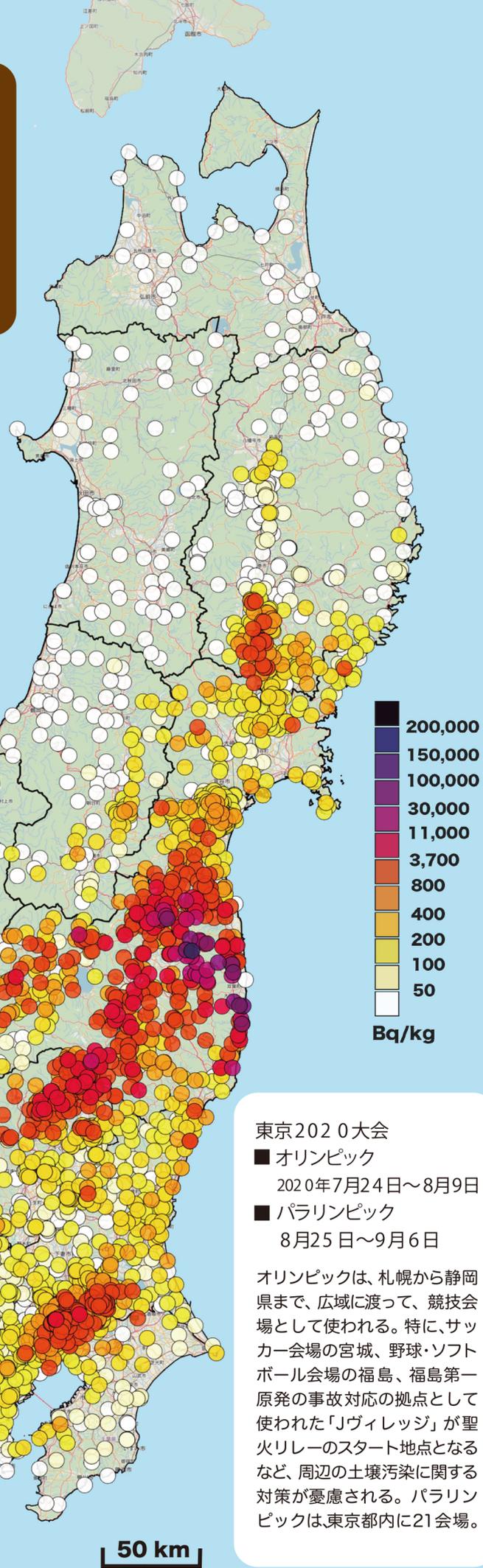


2020年7月 の値に換算した 東日本17都県放射能測定マップ

各国から問い合わせがあるため、オリンピック開催時に合わせてセシウム137の減衰補正計算をした値を表すマップを作成しました。

注：この地図は、2014年10月～2017年9月の3年間に行なった「東日本土壌ベクレル測定プロジェクト」により土壌を採取して測定した日の実測値（セシウム137：単位Bq/kg）を元に、2011年3月22日を起点として、2020年7月1日時点で減衰補正計算した理論値を、みんなのデータサイト独自のスケール（尺度）に合わせて色別に表示したものです。計算による減衰を表したものであり、必ずしもこの値通りになっていることを保証するものではありません。また、1つ1つの採取地点の値が、その地域の代表的な汚染度を表すものではありません。



東京2020大会
■ オリンピック
2020年7月24日～8月9日
■ パラリンピック
8月25日～9月6日

オリンピックは、札幌から静岡県まで、広域に渡って、競技会場として使われる。特に、サッカー会場の宮城、野球・ソフトボール会場の福島、福島第一原発の事故対応の拠点として使われた「Jヴィレッジ」が聖火リレーのスタート地点となるなど、周辺の土壌汚染に関する対策が憂慮される。パラリンピックは東京都内に21会場。

© OpenStreetMap contributor

